

平成 15 年 10 月 14 日

各 位

会社名 株式会社日本トリム
代表者名 代表取締役社長 森澤紳勝
(コード番号 6788 東証第 2 部)
お問合せ先 経営企画部係長 大貝哲也
(TEL. 06 - 6456 - 4600)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 15 年 5 月 19 日の決算発表時に公表した平成 15 年 9 月中間期(平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 9 月 30 日)の業績予想を下記のとおり上方修正しましたのでお知らせ致します。

記

1. 平成 15 年 9 月期中間単体業績予想数値の修正(平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 9 月 30 日)
(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	4,443	826	413
今回修正予想(B)	5,159	1,240	620
増減額(B-A)	716	414	207
増減率(%)	16.1	50.1	50.1

2. 平成 15 年 9 月期中間連結業績予想数値の修正(平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 9 月 30 日)
(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	4,443	822	407
今回修正予想(B)	5,159	1,221	626
増減額(B-A)	716	399	219
増減率(%)	16.1	48.5	53.8

3．修正の理由

弊社は水を電気分解して得られる、還元性（抗酸化性）を持った水、「電解還元水」の研究開発及びこれを生成する電解還元水整水器の製造販売を主事業と致しております。

電解還元水の研究開発につきましては、本年6月に九州大学大学院との抗糖尿病に関する共同論文が蘭学術誌「サイトテクノロジー」へ、7月には台湾大学医学部との人工透析への応用に関する共同論文が米医学誌「キドニーインターナショナル」へ掲載されるなど着実に進展致し、当社製品のブランド力の向上にも寄与しております。

営業部門につきましても、当初公表計画に織り込んでいなかった事業部門の強化が順調に進み、この結果、今中間期の業績が従来当初予想を、大幅に上回ることが確実となりましたので今回、上方修正するものであります。

また、1999年に設立した、異常遺伝子診断キットの開発を主事業とする米国連結子会社 TrimGen Corporation の日本での事業立上げも年内に予定致しております。

これは、先だって製品PRのため、9月25日～27日に名古屋国際会議場で開催された第62回日本癌学会総会に出展し、引き合いも頂戴致しております。今後は、日本国内での各研究機関、大学などへの働きかけを強化し、業容拡大に努めて参ります。

なお、平成16年3月期通期の業績予想につきましては現在策定中であり、平成15年11月17日に予定している、平成15年9月中間期の決算発表時に上方修正致します。

今回修正予想数値につきましては、監査法人による会計監査は受けておりません。

以 上